

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

会話の空気を読み取る AI によるフワキラ空間の構築

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

坂本 真樹（電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授）

5. 評価結果

場の空気と表現される複数人の感情の把握を、会話を元に客観的に評価する技術を構築し、さらにその場の空気にふさわしい空間演出を目指す本研究開発は、着眼点がユニークであり、エンタテインメント性のみならず様々な空間構築を行う未来の技術として高く評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、音声認識の高度化や、小規模ながら実証研究を行うための環境を整備するなど、着実な進展が認められ、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、空間演出により得られる効能をどのように客観的に評価するかという点について課題があるため、空気を読む手法自体についてもその意義・有効性の評価が困難であることから、探索研究で終了という評価となった。

以上